



令和2年 3月 4日  
8時 35分 受領  
令和2年 3月 4日

伊根町議會議長 上辻 亨 様

伊根町議會議員 佐戸 仁志



## 一般質問通告書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
町としての 感染予防を	中国で感染が始まった、コロナウィルス肺炎はあつという間に日本全国に広まり我々もいつ感染するかわからないという状態となった。国も小学校、中学校、高等学校に3月2日よりの休校をという政策を国民に望み、大混乱となっている。早期に感染を抑えるには必要であると理解している。伊根町も多くの中中国人観光客が訪れ「もしや」と思われたが「春節」から1ヶ月が経ち肺炎者が出了という情報もないものから感染者はないものと思われる。しかし、感染予防はする必要がありマスクの装着、手洗い、アルコールによる消毒が最低限の予防であると聞く。伊根町で備蓄しているマスク、アルコール等を妊婦、高齢者の希望者に配布し重篤な感染者を出さない、感染者を抑える政策をしてはどうか。又今回は備蓄が少ないと聞くが、使い捨てマスク、アルコール等も安価で年数も長く備蓄出来、今後の事も考え町民全員に充分配布出来るよう備蓄する事を望む。	町長

発言時間 約 15 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること  
2 質問の相手は、町長、教育長とする



令和2年3月4日

9時7分受領

令和2年3月4日

伊根町議會議長 上辻 亨 様

伊根町議會議員 大谷 功



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
○新型コロナウイルス感染症対策について	<ul style="list-style-type: none"><li>・観光客の減少などで伊根町への影響額はどの程度となっているか把握は出来ているか。</li><li>・伊根町において発生した場合の患者対応や、感染拡大対策は整っているか、また、各地でイベント等の中止、延期がされているが、伊根町の基本的考えは。</li><li>・新型コロナウイルス感染症について、現在幅広い範囲での感染症発生対策マニュアルが伊根町にあるのか。無い場合、伊根町において新型コロナウイルス感染症発生した場合また発生の可能性が高い場合の対策マニュアルについて整備するべきではないか。</li><li>・京都府による、新型コロナウイルス対応緊急資金が緊急に創設されたが、今後影響の大きさ等を考えた場合、この制度に加えて伊根町による利子補給制度の検討が必要ではないか。</li></ul>	町長
		発言時間 約15分

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること  
2 質問の相手は、町長、教育長とする。

受付  
第3号  
-2.3.-4  
伊根町議会

令和2年3月4日  
9時14分 受領

令和2年3月4日

伊根町議會議長 上辻 亨 様

伊根町議會議員 山根 朝子 (印)

## 一般質問通告書

次のとおり通告します

質問事項	質問の要旨	質問の相手
教育のICT化による健康面への影響と対策について	政府は言語能力と同様に情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけGIGAスクール構想を打ち出している。伊根町でも2020年度予算では、学校ICT環境整備事業として410万2千円が計上され、電子黒板の導入が計画されている。ICTの活用はより効果的な学習や遠隔地、病児・特別支援教育などメリットはある。しかしその反面、視力の低下を初め健康面の問題が懸念される。文科省が平成24年に行ったアンケートでは、健康面への影響としてドライアイや視力の低下、姿勢の悪化、電磁波の影響等の回答が多くかった。電子黒板などの画面が見えにくくと回答した児童生徒は「目の疲れ」の変化を感じた割合が多かった。児童生徒の健康面への対策、特に視力低下への手立てが必要と思われる。また、ICT化に伴う教育学習環境の整備が必要だがどのように考えているのか、見解を問う。また、教員についてもIT機器の使用が増えることによる健康被害はないのか、心配するところである。この点についてもどのような配慮がなされているのか伺いたい。	教育長

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること

2 質問の相手は、町長、教育長とする。



令和 2年 3月 4日  
11時 8分 受領

令和 2年 3月 4日

伊根町議会議長 上辻 亨 様

伊根町議会議員 中嶋 章

(印)

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
耕作地保全と獣害対策について	<p>全国の農村山間地では高齢化が進み農作地の荒廃が増加しています。伊根町でも高齢になり体力的にきつくなったり、所有者がお亡くなり配偶者では耕作が困難になりやめられたり、またサルやイノシシ等の獣害によって耕作意欲の低下など様々な原因で耕作されなくなった農地が散見されるように感じます。高齢化が進むにつれ今後、耕作放棄地の増加が懸念されます。</p> <p>美しい田園風景や四季折々の花畠、季節の野菜畠の風景はその村で暮らす人々の生活の豊かさを知るバロメーターであります。高齢者には自然の恵みを受けて収穫する作物は楽しみであり生き甲斐につながります。収穫の一部が身近な場所で販売出来ればさらに喜びも生まれると思います。また、四季折々の美しい自然の景色は都会から訪れる者には喧騒から離れた癒しの里とあり憧れの場所です。</p> <p>獣害から農地を守るためこれまでから有害鳥獣対策を講じられ、昨年からは調査員によるサル位置情報をメール配信されています。集落単位でサルの追い払いを行われていますがその効果とメール登録数はどのような状況でしょうか。今後の展開はどうでしょうか。</p> <p>都会では一頭のサルの出没でも大騒ぎになりますが、毎年子ザルが生まれ増加しているように感じます。大胆な対策ですがサルを全頭捕獲し山奥で大型飼育檻を設置するなどの踏み込んだ獣害対策はどうでしょうか。今後の耕作地保全対策と合わせて見解をお伺いします。</p>	町長

発言時間 約 20分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること  
2 質問の相手は、町長、教育長とする。



令和 2 年 3 月 4 日

12 時 51 分 受領

令和 2 年 3 月 4 日

伊根町議会議長 上辻 亨様

伊根町議会議員 和田 義清 (印)

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
消防団と防災体制について	<p>現在、伊根町の消防団員数は条例定数156名に対して約140名が団員として所属し、八木団長を筆頭に、生業の傍ら地域の安心安全を守る為に日々、防災活動に励んで頂いている。</p> <p>この2年間は、幸い台風による水害を含めた大きな災害もなかったが、平成29・30年においては、台風シーズンに入ると頻繁に消防団の待機・出動、対策本部の設置がなされる日々があった。</p> <p>あの当時は台風シーズンに入ると、消防団員として待機と出動が日常的なものと感じられ、台風による自然災害が当たり前の感覚となっていた。</p> <p>実際に、本町唯一の二級河川である筒川の堤防は決壊し、度重なる増水の度に農地は被害を受け、集落によつては床上、床下浸水の被害もあった。</p> <p>当時自身も被災し、また、消防団員として活動する中で、災害時の情報共有の重要性と地域に同時多発的に災害をもたらした時の消防団の重要性を深く学んだ。</p>	町長

しかし、当町に限らず全国的にみても消防団の現状は、少子高齢化・人口減少の影響もあり、団員のサラリーマン化・消防団員の高齢化に加え、団員の確保も困難になりつつある。

反比例して、近年の自然災害等は同時多発的に発生する事から被害も広範囲に及ぶ事が多い。

また山火事等が発生し延焼面積が拡大した場合など、地方においては消防団の対応、役割が益々求められると予測される。

現状、伊根町消防団の団員数は、条例定数に対する所属団員数は良好であると考えている。

しかしながら、現況の所属団員の年齢層を見ると将来的には確実に減少の一途を辿ると予測する。

伊根町消防団については伊根町例規集第12編により消防団条例をはじめとした各種条例で定められているが、伊根町の将来を見据え、町民の安心安全を確保する防災体制を持続し、更なる消防団員の確保をしていくためには、以下の点を改善していく必要があると考えるが、町長の考えを問う。

	<p>① 消防団員の任命条項を変更し、町長もしくは団長が認める在住、在勤以外の町外者も団員とすることについて</p> <p>② 満 50 歳からの定年齢の引き上げ</p> <p>③ 報酬、費用弁償の増額</p> <p>④ 消防団運営交付金の増額</p>	
--	--	--

発言時間 約 50 分

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること  
2 質問の相手は、町長、教育長とする。



令和2年3月4日

12時52分 受領

伊根町議会議長 様

令和2年3月4日

伊根町議会議員

松山 義宗



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
空き施設 の利活用 について	<p>当該町においても少子化が進む中、2005年朝妻小学校を伊根小学校と統合し、利活用としてリユースショップを運営しています。また2014年には本庄中学校を伊根中学校と統合し空き校舎は現在まで利活用の道を探っているように見えます。利用しないのであれば負の遺産となります。</p> <p>一方で観光活性化策、定住促進の取り組みの事業は進展しており、新築、改築、改装は増えています。新規事業に反対するものではありませんが、前述した施設の利活用の調査検討がなされないなら公費を投じての整理も何れは必要となると考えられますが、町長、教育長のビジョンをお伺いします。</p>	町長・教育長

時間 15 分